

前提条件メモ

- ・ 平日の昼 季節：冬
- ・ 中学で無事
- ・ 家は大丈夫、火事も無し、電機は停止
- ・ 余震が怖くて、食料などをもらいに、避難所へ！

登場人物（イメージ）役割・立場

第1シーン（町内会の救助）

- ・ 見回りA：担架・医者探し 会長
- ・ 見回りB：人助け 民生委員
- ・ 見回りC：人助け 主婦
- ・ けが人：骨折・家の下敷き
- ・ 医者：上地内科の人
- ・ 元看護師：綾の母
- ・ 衛生班：おやじの会
- ・ 第2シーン
- ・ 小さい子

A 「戸川さん達。ちょっと来てもらえるー？」

B・C 「どうしたの？」

A 「こっちに、けが人がいたの。」

C 「じゃあ木村さんは小学校から担架を持って内科から先生連れてきてもらえる？」

A 「わかった。」

B 「私は椎さんとけが人を安全な所に運んどくわ。」

D 「時間ないから、作っちゃおう。」（物干しざお2本 毛布）

A 「じゃあ先生は学校に連れてくわ。」

C 「大丈夫ですか。」

けが人 「足が痛いので骨折したかもしれません。」

C 「少し待って下さい、」

D 「おーい！担架できたよ。」

C 「こっちに持ってきてー。」

B 「じゃあ運ぼうか。」

B・C・D 「よししょ。」

D 「すいませーん。骨折した様子の人がいるので医師の方お願いします。」

医者 「すぐ手当します。」

ナレーション 一時間後、水道が止まったため水を求めた人々が避難所に集まり始めました。  
小さい子 「お母さん、のど乾いたー。」

母 「ちよつと待っててね。近くの人に余ってるか聞いてみるから。」

「すいません。分けてもらえる水ありますか。」

近くの母 「私達も、ぎりぎりなんですよ…。」

母 「そうですか。」

母 「すいません、お水ありませんか。」

寺岡先生 「少しお待ちください。少しずつ対処していつてますので。」

母 「あ…はい。」

藤川 「会長、緊急時の班分けはされていますか。」

会長 「じゃあ、今いる人で班分けしよう。」

ナレーション ○○分後

「衛星班、食料班は幸田の浄水場にバケツを学校の軽トラに積んで、水をもらってきて。あと今元気な人は衛生班の人たちと一緒に浄水場に行ってください。」

中 「お名前は何ていうの？」

小 「さやだよ！」

中 「かわいいね。お水まだかね。」

小 「もうのど乾いちやったよ…。」

中 「あつ！帰ってきた！」

衛食 「もらってきたぞー。100円ショップで紙コップも買ってきたよ。」

会長 「お疲れ様。(小さい子に) はい、どうぞ。」

小さい子 「ありがとうございます。」

ナレーション 夕方になって風邪気味の人がすごく寒がっています。

山本 「寒いよー。」

長谷川 「私は上地小学校のPTAの役員です。保護者会の時に使っている電気ストーブを使いましよう。」

京藤 「発電機がいますね。」

長谷川 「理科室に発電機が一個あるのでちよつと待って下さい。」

山本 「発電機は照明やテレビやラジオにも使うから一台じゃたりないよ。」

田多 「私は5区の町内会の役員です。じゃ私が取りに行きます。他の区の町内会の人にもお願いしてたくさん集めてください。」

山本 「毛布も取りにいったほうがいいんじゃないの。」

京藤 「みなさん、家に毛布がある人は、自分の分と他の人の分を取りに行ってください。途中に余震があるかもしれないので、気を付けてください。」

京藤 「持ってきたら災害弱者の人を優先して配ってください。」

山本 「そういえば発電機の燃料もいるんじゃないの。」

京藤 「けがしてない人は発電機の燃料を取りに行ってください。」

ナレーション 夜、市役所の人がかけてきました。

ワガママ人 「もつと物資ないの？みんな足りないんだけど。」

小島 「市役所の小島です。今、国から食料と物資が運ばれているのでもう少し待って下さい。」

ワガママ人 「いつ届くの？」

市役所 「明日の朝には届きます。」

ワガママ人 「寒いしあったかい物が食べたいのに明日の朝まで待てません。」

市役所 「地域で食料を集めてみんなで分けて下さい。カップラーメンとカセットコンロとやかんがあればできるので集めてください。」

お昼時で人がにぎわっています。

アレルギーの人 「すいません。私動物アレルギーなので盲導犬もやめてもらいたいのですが。」

盲目の人 「ごめんなさい。けれど何処へ行けばよいのでしょうか。」

衛生班 「私衛生班の岡本です。どうされましたか。」

アレルギーの人 「盲導犬を連れてきた方がいるのですが、私は動物のアレルギーなので、犬がいると困ってしまうんです。」

衛生班 「お名前は何ですか？」

アレルギーの人 「神尾です。」

衛生班 「そちらの方は。」

盲目の人 「浦崎です。」

衛生班 「それでは、浦崎さん、教室にご案内します。どうぞついてきて下さい。」(歩く)

衛生班 「犬の名前はなんですか？」

盲目の人 「パールです。」

衛生班 「かわいい名前ですね。」

「女の子ですか。」

盲目の人 「いえ男の子なんです。」

衛生班 「おとなしい子ですね。もうそろそろ着きますよ。」

教室に着きました。

盲目の人 「ありがとうございます。」

衛生班 「避難所にいる間はわたしに相談して下さい。」

盲目の人 「すいません。早速ですが、ご飯を持ってきて頂きたいのでお願いします。」

衛生班 「乾パンならありますが大丈夫ですか？」

盲目の人 「あるものなら何でも大丈夫です。」

衛生班 「わかりました。しばらくお待ち下さい。」

盲目の人 「本当にありがとうございます。助かります。」

衛生班 「いえいえ。」

ナレーション 無事美味しくご飯を食べ終わることができたようです。

盲目の人 「ありがとうございます。おいしかったです。」

衛生班 「本当によかったです。」

盲目の人 「あのー申し訳ないのですが、トイレの場所を教えて頂きたいのですが…。」

衛生班

「分かりました。曲がる所の階段の手すりにタオルをつけていくので、2回目からはこちらを目印にしてくださいね。それでは行きましょう。」

盲目の人

「お願いします。」